

2022年8月号

2022年9月20日発行

# NPO 法人わっか 月次報告書

# 39



## だれもが、まるごと受けとめられる社会をつくる

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

### 子どもを取り巻く環境について

子どもたちは、思うがままに過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない

社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、

まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、

子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、

さらには、地域社会においても、

その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。

また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り

仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

「わっか」は、2014年3月から活動をおこなっています。

活動当初は、月に1回冒険遊び場を、びわ湖のほとりで行っていました。

そこに来てくださる方の声に応えたくて2015年7月から、古民家の開放をはじめました。

毎週月曜日の放課後、日曜日は月に1、2回開けることから始めた古民家開放は

わっかを通じて出会った人の声に応えるように、活動の幅を広げています。

毎週 火～木曜日 13:00 ～ 17:00  
金曜日 16:00 ～ 20:00

子ども 16名 おとな 5名

## 平日わっか

毎週火～金요일に開いている場です。参加費無料・申込不要。カリキュラムやプログラムは一切なしで、ただ開いている場です。そんな場所に集う人たちと、ゆったりとした時間を過ごしています。

第2、4日曜日 10:00 ～ 15:00

子ども 19名 おとな 5名

## 日ようわっか

第2、4日曜日のお昼に古民家を開放しています。お休みの日なので、ここに、くるのは小学校高学年までの親子連れが中心です。親子で、きていた子が大きくなったら一人で「月ようわっか」にくるといふこともあります。





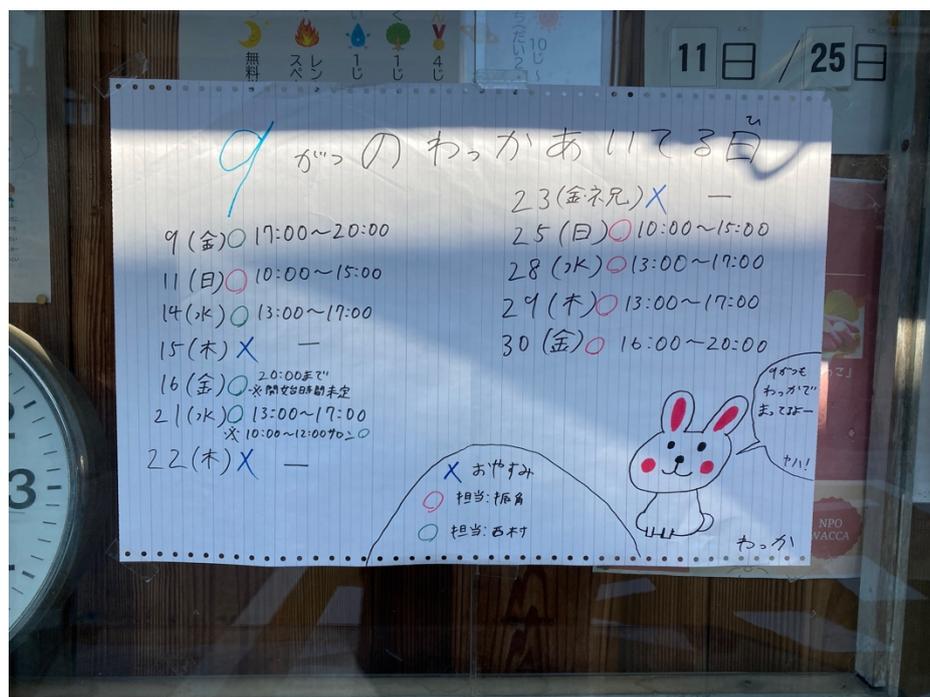
# なおえもんの日記

## 様々な年齢層の人との関わり～おばあさんたちとの関わりから～

今年度、わかでは新たな活動がスタートしていく。毎日やっていた古民家開放を週3日に減らし、無料学習の日・貸し出しスペースの日が始まる。今回は少し違うが、古民家の管理人の方と一緒にサロンを行う。

まず自分はいつか店みたいなのをやるのが夢だった。店ではないけど月1回から始めることにした。実際に6月からスタートして、初回は7名の方が来てくださった。一緒にお話して、お菓子を食べて、そして何より盛り上がったのがトランプゲーム。中には久しぶりの方もいたとか。とても楽しかった。

普段は学童でも古民家でも、小学生を中心に関わることが多いが、6月からは、新たな年齢層の人と関わるようになった。小学生は何より1番好きなのは遊びであり、おばあさんたちは会話が1番好きなのではないかと感じた。まだそれくらいしか感じられてないが、サロン開催の度に観察して、小学生だけでなく、おばあさんたちの好きなものや、持っておられる興味を考えられたらいいなと思う。



なおえもんが書いた『あいてる日』

## 2022年8月に頂いたご寄付

物品でのご寄付 **3** 名（団体）



子どもたちとの時間が、寄付によってより充実したものになります。  
本当にありがとうございます。

マンスリーサポーター **29** 名

荒巻りか、大溪麻紀子、後藤基志、佐藤笑代、佐藤真紀、佐藤桃子、柴原隼、鈴木愛子、津田千恵子、永峰美佳、西村、廣部奈緒美、藤澤彰祐、べっかむ、前田諭、マコトヤ、南出吉祥、三輪恵美、吉田尚子、安田寿彦  
(敬称略)

都度ご寄付 **1** 名

助成・補助団体、応援企業 **5** 団体（2022年度）

米原市、独立行政法人 福祉医療機構、タノシニア合同会社、マコトヤ、紙 eco（敬称略 2022.9.10 現在）

Facebook



こどもと大人の居場所 わっか

Twitter



アカウント名 @NpoWacca